



「TEKU-TEKU」松崎大地（版画コース 206H041）

未

野

木野通信

Kino Press No.53

Kyoto Seika University

京都精華大学

木野通信 第53号 2011年12月15日発行  
 京都精華大学入試広報部広報課  
 〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137  
 TEL 075-702-5197

海へ

学長◎ 坪内成晃 7subouchi Shigeaki

原

発事故を伴った東日本大震災の起きた2011年が過ぎようとしている。被災地をはじめ日本中で生き方や暮らしに展望が開けないなか、我々にはどんなメンタリティーがあるのだろうか。

先月韓国で再会した卒業生から、穏やかな「海」のイラスト付き絵ハガキが届いた。そこには年の瀬の挨拶とともに、震災後の日本にむけて短いエールの文章が記されていた。

絵ハガキは物語りを紡ぎだすオブジェだという訳か。ハガキを介して「海」について、彼と私で思考の対話が始まる。「海」は「mare」であり「mater=母」に通じている。また漢字「海」には「母」の文字がふくまれ、さらに「うみ」は「生み」の意であることを知る。古代の海が生物誕生の源であるのは習知しているが、海にかかわる大災害とあわせて見るこの絵ハガキは、人間の命について語りかけてくる。

アクトアルな問題をだれかに向けて、「自分はこう思うのだがどうなんだ」と本気で対話するには肉声の表現手段が最適だ。話す、書く、描く、搔く、弾く、などの行ないは人間存在の証である。自信を失った国に希望があるとすれば、「想像力」と人の手による「表現力」がその鍵をにぎっている。これからの世界は、文化的な表現力が人に驚きと喜びを届ける仕事となるのだろう。

京都精華大学は創設以来、複雑な科学技術社会のなかで「人間」と「文化」の創造を目指してきた。現在本学では、芸術・デザイン・マンガと人文学部をもつ歴史に立脚し、時代の変化に切り込む文化、芸術領域の拡充として、2013年の春に「ポピュラーカルチャー学部」の新設と既存学部の再編を構想している。こころと命の価値が見直される今だからこそ、海の向こうの水平を見据えた大学の船出が必要だ。

通

信

Special  
Issue

## 2013年、京都精華大学が教学改革を実施。 —新学部を開設、マンガ学部を拡充—

2013年4月、京都精華大学は教学改革を行う。新たにポピュラーカルチャー学部を開設（構想中）。既存の芸術、デザイン、マンガ、人文学部と併せて5学部体制になり、「表現の大学」としてさらなる進化を遂げる。

**坪** 内成晃学長が2010年度に掲げた「教学改革2013」。学生を最優先する本学の教育理念に則り、学生に対して各学部がそれぞれの教学の魅力を高めること、表現の大学としての特徴をさらに打ち出すため、新たな表現領域に高等教育機関として取り組むことが示されている。この方針に従い、2013年度に向けて、新学部の設置、既存4学部における教学内容の強化を行う。

新設学部として、「ポピュラ

ーカルチャー学部」を設置。音楽とファッションを中核にすえた新学部を開設することで、新しい価値観を創造するクリエイターを養成し、社会と文化芸術のさらなる発展を目指す。

この学部での教育は、既存の音楽大学や専門学校とは一線を画す。若者のアイデンティティとも深く結びつく、ポピュラーカルチャーとしての音楽、ファッションを高等教育に取り入れていく。音楽、ファッションの業界はともに、メディアと産業

システムの変化の激しい潮流のなかにある。いま求められる、時代の先端を切り開くクリエイターを本学部では育成する。

世界のマンガ教育をリードしてきたマンガ学部では、改組を行う。マンガのジャンルが細分化され、個々の仕事が専門化してきた流れを受け、マンガに関わるすべての人材を育成するため、ギャグマンガコースとキャラクターデザインコースの2コースを新設する。学科改編も併せ、2学科6コース体制となり、

全コースの学生がともに学べる「学部共通科目」も充実させる。

また、デザイン学部にはイラスト学科を新設する。既存のビジュアルデザイン、プロダクトデザイン、建築の3学科においても、カリキュラム等が再構築される。

既存の大学教育の在り方を打ち破り、独自の新しい研究分野を開拓してきた本学。2013年度の教学改革によって5学部体制となり、新しい文化と社会を創造する人材育成にさらなる深みと幅を設けていく。

## 2013年度 学部・学科・コース編成

### 新設 ポピュラーカルチャー学部

(2013年4月設置予定/構想中)

[定員: 118名]

#### ポピュラーカルチャー学科

- 音楽コース
- ファッションコース

### デザイン学部

[定員: 208名]

イラスト学科 **新設**  
(2013年4月設置予定/構想中)

- イラストコース

ビジュアルデザイン学科  
(2013年4月改組予定)

- グラフィックデザインコース
- デジタルクリエイションコース

#### プロダクトデザイン学科

- プロダクトコミュニケーションコース
- ライフクリエイションコース

#### 建築学科

- 建築コース

### 人文学部

[定員: 300名]

- 総合人文学科

### マンガ学部

[定員: 232名]

マンガ学科  
(2013年4月改組予定)

- カートゥーンコース
- ストーリーマンガコース
- ギャグマンガコース **新設**
- マンガプロデュースコース **新設**
- キャラクターデザインコース **新設**

#### アニメーション学科

- アニメーションコース

### 芸術学部

[定員: 240名]

#### 造形学科

- 洋画コース
- 日本画コース
- 立体造形コース

#### 素材表現学科

- 陶芸コース
- テキスタイルコース

#### メディア造形学科

- 版画コース
- 映像コース

Special Issue

# ポピュラーカルチャー学部

音楽とファッションを学ぶ、  
新学部が誕生

2013年4月、京都精華大学の5つ目の学部として「ポピュラーカルチャー学部」が誕生する。「音楽コース」「ファッションコース」の2コース編成。入学定員は118名。ポピュラー音楽とファッションを学ぶ学部となる。

マンガ、アニメ、音楽、ファッ

ションなど「ポピュラーカルチャー」として括られる領域の中でも、とりわけ音楽とファッションは、若い世代にとって自分の世界観やアイデンティティの形成に深くつながる領域である。また、国際的にも「クールジャパン」として高く評価されており、日本が誇る文化

的価値の高い分野である。にもかかわらず、これらの領域は高等教育機関で取り扱われてこなかった。本学は社会的、文化的に大きな意義をもつこの2領域を教育研究分野として確立することに、日本の大学として初めて取り組む。

ポピュラーカルチャーは、広く社会に受容、流通される性質のもの。本学部では、技術の習得に加えて、現代社会とそこに生きる人間に対する理論的考察をも学ぶ。たんなる技術者育成にとどまらない、新しい文化を創造するクリエイターを養成する。



音楽、ファッションの2コースからなるポピュラーカルチャー学部。  
 音楽コースは、ポップス、ロック、クラブミュージックなどの  
 ポピュラーミュージックに取り組み、  
 新しい時代に必要な音楽の作り方を基礎から学ぶ。  
 ファッションコースでは、ファッションデザイナーに必要な  
 デザインの技術、知識を基礎から身につける。  
 ファッション文化を支える思想を学び、批評する力も養い、  
 ファッションで新しい世界を切り拓く人材を育成する。

# Faculty of Popular Culture

## ファッションコース

新学部のファッションコースでは、ファッションで世界を変革する、そんな可能性をもったファッションデザイナーを育てる。服づくりの技術の習得に加え、ファッションの歴史、マーケットやビジネスモデル、情報発信、ファッション批評についても学ぶ。実際にファッションショーをプロデュースするプロジェクトや、服のデザインからブランド設立までを体験する授業も実施。「ファッション」という表現で新しい世界観や文化を提案できる人材を育成する。

アパレルブランドプロデューサー

スタイリスト

ショップオーナー

ファッションデザイナー

バイヤー

進路

Fashion  
Course

パタンナー

ショー・イベント企画

ファッションサイト・雑誌の編集者

テキスタイルデザイナー

ファッションライター

Special  
Issue

# マンガ学部

新たにギャグマンガコース、キャラクターデザインコースを開設し、  
教育領域を拡充

マンガ学部では、現代のマンガコンテンツを生み出すすべての人材を育成するために、新たに「ギャグマンガ」「キャラクターデザイン」を学ぶ2つのコースを新設する。

日本で生み出されるマンガは、現在では世界が目にするコンテンツへと成長。そのジャンルや

表現手法は細分化され、描き手も専門化している。発表の場となるメディアも、インターネットや携帯電話、スマートフォン、電子書籍へと広がり、ひとつの作品には、マンガ家だけでなく、ストーリーを考える原作者、キャラクターを生み出すデザイナー、作品を企画する編集者やプ

ロデューサーなど、多くの人が関わっている。こうしたマンガ文化をめぐる動きに柔軟に対応できる人材を育てるため、2コースを新設することとなった。

ギャグマンガコースは、「笑わせる」というマンガの原点に立ち返り、発想力、構成力、作画力を磨く。キャラクターデザイ

ンコースは、魅力的なキャラクターを生み出し、ビジネスに結びつける力を育てる。

また、既存のカートゥーン、ストーリーマンガ、マンガプロデュース、アニメーションの4コースとのコラボレーションをより活発にするため、学部共通科目も充実させる。

## ギャグマンガコース

「いかに笑わせるか」を追究するギャグマンガでは、作画力のほか、発想力やアイデアをかたちにする構成力が重要視される。そのため、本コースでは漫才やコントを分析することから「笑い」の構造を学ぶと同時に、マンガを中心に文章でも自分のアイデアを作品として表現できる力を身につける。また、ソーシャルメディア、動画サイトなど、マンガ作品の発表の場が拡大している時代に対応するため、あらゆるメディアを使いこなす「発表力」を身につける必要性も。学生自らコース公式Webサイトを立ち上げ、笑いを目的とした作品（マンガ、文章、動画など）を広く社会に発信していく。

教員には、「ギャグ漫画家大喜利バトル」を主催するなど、幅広い人脈を持つギャグマンガ家のおおひなたごう氏が就任予定。

コピーライター

イベントプランナー

放送作家

マンガ家

マンガ原作者

CMディレクター

進路

脚本家

広告プランナー

Webコンテンツ制作

# Gag Manga Course

2013年4月、マンガ学部は2学科6コース編成となる。  
 確かな画力と鋭い観察眼を養うカートゥーンコース、  
 プロのマンガ家である教員から直接指導を受けるストーリーマンガコース、  
 編集・原作・批評でマンガ文化の新境地を切り拓くマンガプロデュースコース、  
 最新鋭の設備でエンタテインメント作品を制作するアニメーションコースの  
 4コースに加え、新たに2コースを開設。  
 常にマンガ教育の先駆者として走り続けてきた京都精華大学マンガ学部が、  
 さらに多彩なマンガ表現を教育研究分野として取り入れ、拡大・進化を遂げる。

# Faculty of Manga

キャラクターデザイナー

イラストレーター

## Character design Course 進路

ゲームデザイナー

マンガ家

フィギュアデザイナー

挿絵画家

広告デザイナー

Webデザイナー

### キャラクターデザインコース

キャラクターデザインコースでは、絵を描く技術はもちろん、キャラクターデザインの発想や、作品をどうビジネスとして展開していくかまで学ぶ。最初は手を動かして、繰り返し描くことを基本とし、同時にさまざまな描画ソフトを使いこなす技術も習得。ネット時代に対応するため、スマートフォンやタブレット端末を想定したコンテンツ作画技術も磨いていく。マンガ学部の他コースの学生がつくった原作をもとにマンガを描くコラボレーション授業も開講する。

また、人気キャラクターが生まれ出される背景やその要素などから、「売れる」キャラクターづくりの手法を学び、自分のキャラクターをどのような商品にするかといった、商品企画力も育成する。

教員には、『仮面ライダー』など特撮作品のコミカライズを担当したすがやみつる氏などが就任予定。ほかにも小説の表紙イラストなどで独自の世界を切り拓くキャラクターデザイナーや、いち早くデジタルマンガに着手したマンガ家らが教壇に立つ。

## 注目の授業 本学のキャリア教育科目を紹介します

今年度より、表現を教育する大学の特徴を活かした、表現者にとって新しいかたちのキャリア支援がスタートしている。本学では、就職だけでなく作家活動やフリーランス、独立までも含めた進路を想定し、学生がキャリアデザインを描けるようにサポートをしている。その1つとして、全学部のカリキュラムにキャリア教育科目を設置した。

例えば、さまざまな業界で活躍する卒業生をゲストに迎え、現場の実際や必要なスキルを学ぶ「キャリアデザイン」、エンタテインメントにおける知識や発想法、舞台やイベントでの表現方法など、社会人としてのクリエイティブ力を習得する「ク

リエイティブの現場」など。また、デザイン職を目指すときに必要なデッサン力を磨く授業なども用意されている。これらの授業を通して、1・2年次から将来のキャリア像を意識しながら学習していけるようサポートする。

教鞭をとる教員陣には、さまざまな業界やメディアで活躍している現役の編集者・企業コンサルタントらを迎えた。自身のアイデアや作品を発信してきた経験者ならではの視点で、一般的な就職活動のノウハウだけではなく、プロのクリエイターやアーティストに求められる自己プロデュース力やコミュニケーション力、情報の発信力を身につける授業を行っている。



「キャリアデザイン」



「キャリアのためのデッサン」

### キャリア教育科目一覧

### Career Education Program

#### 「キャリアデザイン」3・4

自分の将来像を低学年から意識し、目指す仕事に必要なスキルを身につける授業。モデルとなる卒業生をさまざまな分野、職種からゲスト講師に迎え、クリエイティブな仕事の実際を知る講義もある。



#### 「作品ポートフォリオ演習」

デザイナーをはじめとするクリエイティブ職に就くために必要な「作品ポートフォリオ」の制作スキルを学ぶ。

#### 「キャリアのためのデッサン」

鉛筆デッサンを通して基本的なデッサン力の向上を目指し、将来の進路に役立てる。

#### 「クリエイティブの現場」

第一線で活躍中の現役プロデューサーらから、クリエイティブの現場から見た制作論を学び、それぞれの現場で求められる「社会人としてのクリエイティブ力」を習得する。

#### 「キャリアインターンシップ」

実際に企業や団体へ就業することで、就業意識を高める。



## Pick Up

### 「クリエイティブの現場」



「クリエイティブの現場」は、よしもとクリエイティブ・エージェンシーがプロデュースする授業。毎回のテーマに合わせて、放送作家やプロデューサーなど第一線で活躍するよしもとのスタッフをゲスト講師に迎え行われている。

テレビ、イベントはもとより、デジタルコンテンツ、グッズ、CD・DVD、書籍など、幅広いジ

ャンルにわたるよしもとの事業。その現場で活躍するスタッフの制作論を通して、さまざまな分野のクリエイティブの現場で求められる力、発想法、企画力などを習得することを目標としている。

また、よしもと祇園花月の舞台イベントを見学できる機会も設けられている。

人文学部 1995年卒業 CEMENT PRODUCE DESIGN クリエイティブディレクター 金谷 勉さん

「最初は自己資金も仕事もゼロ。パソコンもない環境で、実家の部屋で独立したんです」。起業時の苦労を振り返りながら照れ笑う金谷勉さん。

精華を卒業後、企画会社の営業を経て、広告制作会社に入った。大手からの受託が100%の仕事。待遇には満足していたが、「一生続ける仕事ではない」と退職を決意した。なにより「自分たちのアイデアやクリエイションを、自分たちで発信したい」という思いが、背中を押したという。

今では、ユニクロやFranc francなど大手クライアントの商品や広告デザインを引き

受ける一方で、数多くの自社プロダクトを手がけるようになった。大阪の京町堀に4階建ての本社ビルを構え、2009年には最先端のショップやクリエイターが集まる、東京南青山に支店を設けた。

20数名の社員とともに手がける仕事は幅広く、グラフィックやプロダクト、企業のブランディングやプロモーション、飲食事業も行う。「マーケットの感覚がわかれば、もっとデザインに活かせることがあるんじゃないか」と流通業にも参加し、開拓してきた販路は約500店舗にも及ぶ。

多角的な経営を行っているにもかかわらず、「自分は技

術があるタイプではない」と言い、学生時代に運営した学園祭の模擬店の話をしてくれた。「うどん屋さんをしようと思ったら製麺屋さんを探しましたし、お店を建てるなら廃材やビールケースが必要。規模は変わりましたが、お金のことであったり、人をキャストして運営することは、今も学生の頃も一緒なんです。自分ができなくても、できる人をお願いすればいい」。

また、精華での学生生活を通じて、なにごとにも能動的に参加することを学んだという。「先生や職員さんに紹介してもらって、建都1200年祭のパレードや学外のイベント



にも積極的に参加しました」。

そんな金谷さんの今後の目標は、「デザインの賞をとること、海外にデザインの仕事をとりに行くこと、会社のなかに保育所をつくること」。

事実、来年にフランスのデザインイベントへの出展が決まっており、「思いついたら、即行動」のスタンスは、すでに目標をカタチにしはじめている。

CEMENT PRODUCE DESIGN  
URL: <http://www.cementdesign.com>

## 活躍する卒業生

様々な業界で活躍する卒業生を紹介します

### ちせ nature and material

谷内亮太さん 美術学部陶芸専攻 2002年卒業  
谷内志穂さん 芸術学部陶芸コース 2005年卒業  
神前真知子さん 大学院美術研究科デザイン専攻 2004年修了

りたくなっただけです。それを販売してライフワークにしたかった。「いつも身に付けてもらえるものを」と、陶芸家から独学で彫金作家に転身。郵便局員として資金を貯め、開店までこぎつけた。

店内に並ぶていねいにつくられた手づくりの品々。谷内さんをはじめ、作家たちは皆、使ってもらう姿を想像しながら制作しているという。「作品は作家の人柄を表します。うちで扱っている作家さんはいい人ばかり。ということは商品もいいものばかり。だから、友達を紹介するように自信をもってすすめることがで

きるんです」。

精華の在学中には定期的に音楽イベントを企画するなど、先輩、後輩が分け隔てなく話せる環境づくりを大事にしていた。そこからコミュニケーションの輪が広がった。「ちせ」もまたアイヌ語で「家」を意味する。コミュニティの原点は「家」という考えからだ。その店名通り「ちせ」は、ものを通して作り手と買い手、売り手が交流できる場所となり、作家、客、先輩、後輩に関わらず多くの仲間が出入りする場所になっている。

「これからは人ともものを大切に

もってもらえる商品をつくり、買ってくれた人の輪が広がって、生活が豊かになる、そんなお手伝いをしていきたいですね」。

ちせ nature and material  
〒606-8276  
京都市左京区北白川別当町28  
TEL/FAX: 075-755-9865  
Open: 10:00~19:00 / 不定休  
URL: <http://chise.in>



神前さんの天然酵母の手づくりパンも大人気

鳥をモチーフにひとつひとつ手づくりされる谷内さんのアクセサリー



左から野呂まさこさん、志穂さん、神前さん、谷内さん

谷内亮太さんが中心となり、出町柳の知恩寺で行われる「手づくり市」に参加していた精華の卒業生に声をかけて開店させたのが「ちせ」。アクセサリーをはじめ、精華で同期だった神前さんのパン、谷内さんの妹でこちらも精華卒の志穂さんのジャム、奥さんである野呂まさこさんの陶器のほか、知り合いの作家がつくった手づくりの商品を販売する。

「学生生活を経て、作家活動をしていくというよりは、人の生活に関われるものをつ



## 全ロシア国立映画大学と交流協定を締結

建築・映像コース学生が映像作品を共同制作

2011年10月デザイン学部建築学科は全ロシア国立映画大学（The Russian Federation State University of Cinematography named after S.A. Gerasimov）との交流協定を締結した。

全ロシア国立映画大学は、



教員によるワークショップ



マンガのワークショップ

1919年に世界で初めて創立された映画大学。これまで多くの著名な映画監督を輩出しており、映画やテレビをはじめ映像関係の様々な分野で活躍する人材を育成している。

11月にロシア・モスクワ市で行われた現代の日本文化を紹介するイベント「J-FEST」では本学のブースを設置し、建築・映像コースの学生が全ロシア国立映画大学の学生と合同で制作した映像作品を上映。そのほか、

デジタルクリエイションコースの学生たちによるお化け屋敷や、マンガ研究科の院生による



卒業生によるライブペインティング

ワークショップ、グラフィックデザインコース卒業生のペイントユニット「uwn!（うわん）」によるパフォーマンスなどが行われ、好評を博した。マンガを描くワークショップは、絶えず

長蛇の列ができるほどで、急遽、待ち時間に始めた似顔絵サービスも人気を集めた。

今後は、両大学間でさらに共同プロジェクトを実施していく。



## マンガの投稿・公開サイト「マンガク」をオープン

マンガ学部教員による投稿作品の講評が話題

インターネット上でマンガの投稿や公開ができるサイト「マンガク」を11月より公開した。大学が投稿サイトの運営・管理を行うという新たな試みであり、現役マンガ家のマンガ学部教員が講評を行うことで話題となっている。

「マンガク」は、先進的なマンガ教育を行ってきた京都精華大学が、これまでに培ってきたマンガ教育のノウハウをインターネットの世界で展開するために開設したもの。サイトの利用は本学の学生や関係者に限らず、ユーザー登録（無料）をすれば誰でも作品やコメントの投

稿が可能となる。現在、ファンタジーやSF、恋愛、スポーツなどさまざまなジャンルのマンガ作品、約50点が投稿されている（2011年12月1日現在）。

運営には、マンガ家や編集者でもある教員が携わり、投稿作品の評価を行う。

ほかにも、『風と木の詩』『地球へ...』などの作品で有名な竹宮恵子先生（マンガ学部長）が、マンガの描き方に関する質問に答えるコンテンツ「マンガ力向上Q

& A”も。第1回目は、「マンガ家になるにはどんな勉強が必要ですか?」という問いに答えている。また、教員によるリレー形式のレビュー、コラムなども連載。今後、投稿作品コンテストなどを企画している。



<http://www.mangaku-seika.jp/>



## マンガ研究科博士後期課程の募集が始まる

日本で初めてマンガ大学院での博士号取得を目指す

2012年4月に開設されるマンガ研究科博士後期課程の学生募集がいよいよ始まる。

マンガ研究科博士後期課程は、世界のマンガをめぐる評論や調査研究の場での活躍する人材や、マンガへのより深い知識と豊かな表現能力を持って制作を行うことができる人材の輩出を目的としている。

出願期間は2012年1月6日～20日、試験日は2月7日、合格発表日は2月17日となっている。

## 4 在学生・卒業生による作品が 「おおさかキャンパス推進事業」に採択

大阪の街なみを借景に、通天閣にて巨大マンガを展示

**在** 学生・卒業生による自主ゼミ「TMゼミ」の作品が、大阪府主催のアートプロジェクト「おおさかキャンパス推進事業」に採択された。

TMゼミは、マンガ学部竹熊健太郎先生と三河かおり先生を中心に昨年6月より活動し、Webマガジンを発信するなど、

新しいマンガのあり方を探求している。2年生以上であれば、分野、学部、学科関係なく院生、卒業生も参加可能で、現在は運営スタッフ25名、登録作家19名で活動を行っている。

「おおさかキャンパス推進事業」は、大阪のまち全体を「キャンパス」に見立てアーティスト

の発表の場とし、大阪の新たな魅力を創造・発信しようとする事業。中之島、服部緑地、咲洲・コスモスクエア等のエリアを中心に、選考された43作品

が発表、展示された。

採択されたTMゼミの『ピリケン物語～通天閣純情編～』は通天閣展望台の窓一面に、ピリケンが主人公の冒険コメディ・マンガを展開させた作品。

通天閣の展望台の窓ガラスをマンガのコマとして使い、マンガをプリントした透明フィルムを窓枠にあわせて貼り込み、大阪の町をマンガの背景にして読ませる。実際の風景を借景とす



ることで、「現代の屏風絵」にもなっている。

ストーリーには、食い倒れ人形や新世界のマスコットキャラクター・くしたん、オリックス・バファローズのバファローブルなど大阪を代表するキャラクターを登場させ、大阪市民に親しまれるよう工夫をしている。

作品展示・発表は、通天閣4階の展望室で12月25日まで行われている。

News

## 塩田千春先生が 文化庁文化交流使に指名

日本とオーストラリアの文化や美術の架け橋に

**芸** 術学部客員教授・塩田千春先生（現代芸術家、本学卒業生）が、2011年度文化庁文化交流使に指名された。

文化庁では、芸術家や文化人等、文化に携わる人々を一定期間「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化、日本と外国の文化人のネットワークの形成・強化につながる活動を展開している。今年度は塩田先生のほか、8名と3団体が指名された。

今後、交流使として活動する

国はオーストラリアを予定している。ホバート市にあるMONA美術館（Museum of Old and New Art）で作品を展示。オーストラリアの現代美術の状況に触れるほか、現地での公開制作、講演、市民や地元アーティストとの交流を通じて日豪の文化や美術の交流を図る。

これまでも世界各国で精力的に展覧会を行ってきた塩田先生。オーストラリアの方々との交流を経て、どんな壮大なインスタレーション作品が制作され

るのか、期待される。



「記憶の部屋」塩田千春 2009

News

## 新任・退職者について

新任教職員（2011年10月より）

・事務局職員  
鈴木ちよ 教務部 教務課  
山崎眞布 学生部 学生課

退職者

・教員  
トーマス チャールズ ダニエル  
Thomas Charles Daniell  
デザイン学部建築コース 准教授  
※2011年9月末退職

・事務局職員  
有田好人 総務部  
※2011年7月末退職

# 1 Topics セイカウイーク 2012 を開催します

2月15日～19日を「セイカウイーク2012」とし、学生作品の展覧会を4会場にて開催します。

各会場では、芸術・デザイン・マンガの3学部の卒業制作展、芸術研究科と初めて修士を輩出するデザイン・マンガ研究科の修了制作展、大学院1年生の作品展示（M-1展）、伝統工芸の現場を体験する授業「京都の伝統産業実習」で制作された学生作品を展示します。

出品される作品は、絵画、イラスト、オブジェ、インスタレーション、写真、映像、ストーリーマンガ、アニメーションなど。学

生たちの学びの集大成を発表する展覧会となっています。会期は5日間ですので、お見逃しのないようぜひお立ち寄りください。

なお、会期中はサテライトスペース「kara-S」にて関連グッズの販売が行われます。また、各会場を結ぶシャトルバスの走行もあります。ぜひご利用ください。各会場とも入場無料です。



2012年2月15日(水)～19日(日)

## 京都市美術館本館

卒業・修了制作展（芸術学部、デザイン学部、芸術研究科、デザイン研究科）  
交通：市バス「京都美術館前」下車すぐ、または地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩10分

## 京都市美術館別館

M-1展（芸術研究科・デザイン研究科の1年生修了展）、「京都の伝統産業実習」制作作品展  
交通：京都市美術館本館と同じ

## 京都国際マンガミュージアム

卒業・修了制作展（マンガ学部、マンガ研究科）  
交通：地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池駅」下車、2番出口から烏丸通を北へ50m

## サテライトスペース「kara-S」

イタリアの家具メーカーと学生がコラボレーションした作品の展示、卒業・修了制作作品およびグッズの販売  
交通：地下鉄烏丸線「四條駅」2番出口 四條烏丸西より直結、COCON KARASUMA 3階

# 2 Topics 2011年度卒業式・2012年度入学式

2011年度卒業式、2012年度入学式を下記の日程で予定しています。

## 2011年度 学位記授与式

日時…2012年3月20日（火・祝） 9時30分開場 / 10時開式  
場所…本学 体育館  
※地下鉄「国際会館駅」よりスクールバスを運行します。  
お車でのご来場はご遠慮ください。



## 2012年度 入学式

日時…2012年4月2日（月）  
9時開場 / 10時30分開式  
場所…国立京都国際会館イベントホール  
※地下鉄「国際会館駅」から徒歩5分。  
お車でのご来場はご遠慮ください。

# 3 Topics 中原佑介さんの追悼シンポジウムを行います

岡本清一記念講座にて、美術評論家の故・中原佑介先生への追悼の意を表してシンポジウムを開催します。

今年3月3日にご逝去された本学名誉教授である中原先生は、1979年4月から2002年3月まで美術学部、芸術学部の専任教授を、1980年11月から1983年3月の間には学長を務められました。

一般の方の聴講も可能ですので、ぜひご参加ください。

## 中原佑介の業績をたどる 批評の技法(アート) ——現代美術の実践とことば

日時：2012年1月21日（土）  
13時30分～17時30分  
会場：本学 黎明館201教室  
出演：加治屋健司（広島市立大学准教授）、林道郎（上智大学教授）、吉岡洋（京都大学教授）、佐藤守弘（司会・コーディネーター / 京都精華大学准教授）

## ご支援下さるみなさまへ ～ご寄付のお願い～

様々な支援に関して、ご寄付のご協力をお願いしております。「学生奨学金制度への支援」、「学生生活への支援」、「文化振興活動への支援」、「国際交流活動の支援」、「教育・研究設備整備事業への支援」より寄付用途を選んでいただき、みなさまのご意向にかなう運用をしています。お申し込みは、銀行窓口、もしくは、インターネット上でのクレジットカード決済にてご寄付いただけます。

この寄付金は、文部科学省から「特定公益増進法人であることの証明書」の交付を受けており、税金控除の優遇措置を受けることができます。

詳細につきましては寄付募集Webサイト、リーフレットをご覧ください。

### 寄付募集Webサイト

<http://www.kyoto-seika.ac.jp/donate>

### お問い合わせ

京都精華大学企画室寄付募集担当

TEL：075-702-5201 / FAX：075-702-5391

[kikaku@kyoto-seika.ac.jp](mailto:kikaku@kyoto-seika.ac.jp)

## Kino Press No.53 Kyoto Seika University

木野通信 第53号  
2011年12月15日発行

京都精華大学入試広報部広報課  
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137  
TEL 075-702-5197

<http://www.kyoto-seika.ac.jp>

「木野通信」送付先住所の変更は企画室・木野会事務局 [kinokai@kyoto-seika.ac.jp](mailto:kinokai@kyoto-seika.ac.jp) までご連絡ください。